

製造業

- ◇**パン**…特に変化は見られないが、少しでも前向きに考え、色々なイベントに参加することを考え、5月24日～26日に茨城県庁2階で開催される第3回茨城スイーツフェアに参加する。
- ◇**酒**…3月の課税移出数量は前年比90%と前年を下回り、24年8月以降前年を上回らない現状である。焼酎乙類の3月課税移出は79.6%と今年に入ってから落込傾向にある。4月より県からの委託事業（販路開拓支援事業）をスタートさせ、新規需要開発に取り組んでいる。4月は新酒販売・常陸国風土記記念イベントのPRを実施した。
- ◇**納豆**…業界全体の売上増は一部大手メーカーにしか恩恵が及んでいなかったが、少しずつ中小メーカーにも好影響が出てきたようである。しかし、円安の影響による光熱費や原材料の上昇が売上増に見合う利益増にはならず、今後の動向を注視しなければならない。
- ◇**菓子**…新年度に入り、原材料等が値上りする傾向の中、挨拶用の菓子折りの売上げは、まずまずであり、一般客の菓子類購入についても良好に転じてきた。
- ◇**繊維製品(袋物)**…GW前納品の受注がかなり多く、各社とも売上は増加の様子。反動で5月の落込みをどの程度カバー出来るかが課題。
- ◇**繊維製品(縫製)**…売上増加を見込んだが、例年並みにとどまり収益面の寄与は少なかった。
- ◇**木材**…円安によるコスト高を背景とした値上げ基調が輸入製品を中心に続いている。買い急ぎムードは手当て一巡で落ち着きが見られ、市況には一服感も見られている。今後、消費税増税前の駆け込み需要が予想されるだけに資材価格や供給量の不安定化は避けたい。
- ◇**プレカット**…見積り等が多いが、職人不足等で上棟が延びる物件が多くなってきた。資材の値上げがまだまだ続きそうである。
- ◇**段ボール**…円安傾向により仕入製品が高くなってきたが、値上げ交渉は難航している。お客様である製造業者にはまだ円安の効果がなく販売増に繋がっていないが、少し動き出したところもあるようなので年末に向けて期待したい。
- ◇**軽印刷**…官公需においては2月、3月の年度末が過ぎ仕事量も一段落というところ。長く続く不況の影響で、全体に元気がない。
- ◇**総合印刷**…受注条件は相変わらず厳しく、廃業を考えている業者も散見される。
- ◇**焼物**…春の行楽シーズンを迎え徐々にではあるが

人の流れが多くなった感がある。第32回笠間の陶炎祭でも過去最高の人出を記録するなど震災前の水準に戻ってきているのではないかと。気を引き締めてなお一層の努力をしていきたい。

- ◇**プラスチック製品**…個々に開きはあるものの、総じて業況は厳しい状況になっている。
- ◇**鍍金**…受注量は前年比1割程度の減であった。月後半は5月連休の絡みで操業度は低下した。原材料は前年度並みであった。石油製品及び燃料等は上昇している。業界全体の景況はまだ好転しておらず、業界に景気上昇が波及してくるのは秋口からとの見方が大勢である。
- ◇**電化機器**…当月における生産高は、対前年同月比で△35百万円（△3.72%）となる915百万円。前月比でも△36百万円（△3.82%）の状況であった。家電関連においては前年と同様な生産高に対し、自動車関連は△34百万円と厳しい状況にある。
- ◇**自動車部品**…生産高の減少傾向については、やや歯止めが掛ったと判断されるものの企業間の格差が拡大している。
- ◇**工業団地(農機部品)**…組合員7社中3社が売上増で、全体では前年同月比109%。仕事量が多い組合員企業と少ない組合員企業で2極分化しており、日頃から多い企業は増加し、少ない企業は更に減少したが、団地全体としては増加した結果となった。今年度前半は、大きな変動は出ないかもしれないが、後半には納品先での海外生産が軌道にのり、影響が出てくる可能性は否定できない。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメント出荷袋数は前年比約12%の減少。新年度に入り、建設工事が急減し低調な出荷となった。
- ◇**水産卸**…精算所取扱は前年同月比5.07%の増。冷蔵庫部門は4月より電力料金の値上げが実施されコスト増となっており収益面で大きな影響を受けることとなる。
- ◇**食品卸売**…野菜、果実ともに前年に比べ入荷増。野菜については単価安、果実については平年並みの単価。組合員各位の努力により前年対比100%を超える取扱高となった。
- ◇**県南地区卸売**…ガソリンその他資材の高騰により、収益悪化が懸念される。
- ◇**県北地区共同店舗**…物販テナントの売上は昨年対比で軒並2桁のダウンとなり、浮上の兆しが見えなくなり深刻な状況。

- ◇**県央地区共同店舗**…春らしくない天気が続いたためか、衣料品、食料品ともに売上が伸びなかった。個人の消費が増えてくるボーナス商戦に期待をしているところ。
- ◇**県南地区共同店舗**…先月より減少幅は小さくなったが、全体の売上高は大きく下がっている。超大型店の影響が今後懸念される。
- ◇**家電**…売上の不振が続くなか前月と同水準を維持。乾燥機付洗濯機、加湿空気清浄機、ブルーレイ・レコーダー、冷蔵庫等の需要がみられた。
- ◇**中古自動車**…オークションは、出品台数、成約台数ともに対前年同期に比べ20%以上の伸びを示しているが、成約率は依然、低水準(36.9%)となっている。
- ◇**石油**…ガソリンの販売価格は昨年同月比で4円値下がりしているが、販売数量も減少。県内全域で元売り販売の子会社による安値販売競争が激化しているため、廃業、休業等に追い込まれる組合員が増えている。
- ◇**ホテル旅館**…昨年はほとんどの施設が雇用を見合わせていたが、不況だからといって人材をとらなければ益々悪化(施設の衰退)すると考え、採用活動を再開しているようである。県北地区、海沿いは催し物等で観光客が来ても宿泊にはつながらず苦慮している。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は対前年同月比普通車105.2%、軽自動車は107.1%でともに増加。
- ◇**総合建設**…毎年のことだが、公共工事は発注時期が偏り、3月の年度末工期完了に合わせての強引な完工要求、そして4月になっての発注ストップ。現在多くの組合員が仕事の減少に悩んでいる。特に3月は作業員も建設機械も材料も不足し高値で外注までして要求期限内完成を行った。年間を通

しての平均化した仕事の受注が望めないこの現状に利益を逸失している。

- ◇**管工事**…新年度に入り新しい工事の発注が減少している。
- ◇**交通安全施設**…急激な労務単価の上昇が懸念される。
- ◇**県北地区運輸**…顧客動向は、前年同月並みとなり荷動きも低調となっている。燃料価格は値下げ傾向ではあるが値幅が小さく収益は苦しい状況が続いている。
- ◇**県央地区運輸**…飲料水関係は荷動き良好。3月から4月にかけて農機具(部品)の輸出が多くなり平年より荷動きが良い。ガーデニング用品・加工製品は平年通り。軽油は高止まりが続いている(運賃の低迷も続き利益は薄い)。

H25.4月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲	33.3		▲ 16.7
その他製造業		▲	5.0		▲ 30.0
卸売業			0.0		▲ 50.0
小売業(商店街を含む)		▲	36.4		▲ 27.3
サービス業			50.0		0.0
建設業		▲	40.0		▲ 40.0
運輸業			0.0		▲ 50.0
全体		▲	16.0		▲ 30.0

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



エコアクション21

エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取り組みやすい環境経営システムです。

特定非営利活動法人『**環境NPOいばらき**』とは、

「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
3. エコアクション21審査人の育成教育
 - ※「エコアクション21地域事務局いばらき(茨城県中小企業団体中央会)」の運営委員会の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

*連絡先: 所在地: 〒310-0836 水戸市元吉田町2649-21 代表者: 飛田 秀幸
 TEL: 029-247-4064 FAX: 029-248-2958 / Email: BYA05445@nifty.com
 H P: <http://kankyou-npo-ibaraki.com/> 何なりとお気軽にご一報ください。お待ちしております。